

報道関係各位

2022年09月07日
スカイディスク

株式会社永谷園が計画立案業務効率化のためにAI×SaaS生産スケジュール「最適ワークス」の導入を開始

生産計画の自動化により生産性向上と柔軟な生産体制を目指す

国内製造業のDXを支援するスカイディスクは、お茶づけ、ふりかけ、即席みそ汁、その他飲食料品の製造・販売する株式会社永谷園（以下、永谷園）と株式会社永谷園フーズ（以下、永谷園フーズ）が、生産計画業務の改善・効率化のために製造業向けAI×SaaS生産スケジュール「最適ワークス」の導入を開始したことをお知らせします。

永谷園、永谷園フーズは今回の導入によって、製造における諸条件を考慮して作成していた生産計画の立案・修正業務の業務負荷を軽減するとともに、作業標準化による属人化リスク解消とボトルネックの見える化を目指します。



製造業において生産計画とは「何を、いつまでに、どれくらいの量を生産するのか」に関する計画のことを指し、納期などの諸条件を満たすように計画を立てる必要があります。

最適ワークスは、あらかじめ設定した条件を加味して、AIが生産計画を立案するAI×SaaS生産スケジュールです。直感的な操作で設定条件の変更や修正ができるため、属人化しやすい計画立案業務を効率化し、最適な生産計画による生産性向上を実現するクラウド生産計画自動立案サービスです。

■導入の背景と期待する効果

永谷園フーズ茨城工場（茨城県高萩市）ではお茶づけ・ふりかけなどの主力商品を、専用の製造設備・ラインで製造しています。豊富なラインナップを揃える定番のロングセラー商品に加え、アグレッシブな新商品、季節限定商品など様々な展開も行なっています。

そのため、製造する商品は多岐に渡っており、それぞれに特有の工程や段取り替え作業が発生します。以前から、そのような諸条件を満たす生産計画を立案する業務自体が非常に複雑化しており、計画遅延や変更があった際には生産計画を再立案することが大きな業務負担になっていました。

また、特定の担当者しか計画立案業務を担えないため、タイムリーな計画修正ができないという課題もありました。

最適ワークスは、特有の製造条件をデータとして設定しておくことで、担当者に代わって条件を考慮した生産計画を立案します。また、シンプルな操作性により、誰でも設定の変更や計画の再立案について操作可能です。

永谷園と永谷園フーズは最適ワークスの活用により、複雑化した生産計画立案・修正に関わる業務の負荷を低減しながら、生産性の最大化を目指します。加えて、属人化解消により安定的に生産計画を立案できる体制、タイムリーな計画修正ができる体制を構築することを目指します。

■永谷園 × 永谷園フーズの生産現場改善

2021年10月1日より自社工場・グループ生産会社が統合し、新たに「永谷園フーズ」となりました。各工場それぞれの技術力や強みを集結し、今後予想される激しい競争に打ち勝てる、強く柔軟性のある永谷園独自の生産体制を構築することを目的に、現在、永谷園と永谷園フーズが協力し「味ひとすじ」の理念のもと、日々改善活動に取り組んでいます。生産活動の基礎となる生産計画業務は、商品の「安定供給・適正在庫」や原材料の「廃棄削減」など、会社の利益に直結する重要な役割だと考えており、「最適な生産計画」を考えられる体制づくりが求められています。

「最適ワークス」を利用して、まずは日々の生産計画業務の自動化に取り組み、業務負荷を軽減させ、「最適な生産計画」によって敏捷性と柔軟性を持ち合わせた生産体制の強化に注力していきます。

■生産計画立案業務へのツール導入の課題

製造業では近年、多品種少量の潮流により生産計画が複雑化しています。製造過程では製品ごとに異なる製造条件により、人間の頭では考慮しきれない多くの条件を考慮して生産計画を立案する重要性が増しています。

しかし、スカイディスクが製造業従事者350名以上を対象に実施した「生産計画へのツール導入に関するアンケート」によると（※1）、実に80%以上が「未導入」「検討中」「過去に検討したが諦めた」と回答しており、本分野でのデジタルツール活用が進んでいない現状があります。また、ツールを既に導入した企業でも、その90%以上が「運用に課題がある」と回答しています。

導入が進まない要因のひとつに、要件定義の難しさがあります。生産計画立案業務にツール導入する際には、製造条件をシステムに設定する必要があります。しかし、実際の製造工程や製造条件をすべて明確に定義してシステムに設定することは、非常に難易度の高い業務です。

最適ワークスでは、設定変更を簡単にするところにAI技術を活用しています。計画担当者がアウトプットを見て初めて気付くような、長年のノウハウ（暗黙知）が製造現場にある前提で開発されており、改善の過程で言語化されたノウハウを追加設定していくことで正確な要件定義に到達します。スカイディスクでは、最適ワークスで高速でPDCAを回して理想の生産計画立案に辿り着く、スモールスタートでのツール導入を推進しています。

■AI生産スケジューラ 最適ワークス

最適ワークスは株式会社スカイディスクが開発・提供する、製造業向けAI×SaaS生産スケジューラ（生産計画自動立案システム）です。「いつまでに、何個、どの製品を」というオーダー情報から、AIが設備稼働・人員配置の割付け計画を瞬時に立案します。

独自開発エンジンにより、マスター設定にかかる手間を劇的に改善。製造業各社がスモールスタートできるサービスを実現しました（月額5万円～）。

製品サイト：<https://saiteki.works/>

2021年10月 有償パイロット版 提供開始 ※順次

2022年4月 正式版 提供開始

■株式会社永谷園／株式会社永谷園フーズ 会社概要

会社名：株式会社永谷園

代表者：代表取締役社長 成田 健一

設立：2015年（平成27年）4月

事業内容：お茶づけ、ふりかけ、即席みそ汁、その他飲食料品の製造販売

従業員数：531名

会社サイト：<https://www.nagatanien.co.jp/>

会社名：株式会社永谷園フーズ

代表者：代表取締役社長 増田 尚弘

設立：2021年（令和3年）10月

事業内容：飲食料品の製造・加工

従業員数：898名

会社サイト：<https://www.nagatanien-foods.co.jp/>

■株式会社スカイディスク 会社概要

2013年の創業以来、製造業を中心に150社を超えるお客様と350以上のプロジェクトに取り組んできました。そこで得た知見・ノウハウをサービス・プロダクトとして世の中に還元することが私たちの使命だと考えています。「ものづくりに関わる人の力をTechnologyでBoostする」をミッションに、誰かの仕事を奪うのではなく、そこで働く一人一人の力をBoost（拡張）させるため、AIを活用したDX支援にチャレンジしていきます。

本社所在地：福岡県福岡市中央区舞鶴2-3-6 赤坂プライムビル4F

代表者：内村 安里（代表取締役社長 兼 CEO）

設立：2013年10月1日

事業内容：AIを活用したDX支援

会社サイト：<https://skydisc.jp/>

※1 生産計画へのツール導入に関するアンケート…製造業従事者 352名を対象に実施（期間:2021年10月～2022年6月）。生産スケジューラの導入状況について、導入前（未導入・未検討：35.2%、導入検討中：27.6%）が6割超。導入の前後で課題にぶつかった企業（未導入・過去に検討したことがあるが諦めた：18.5%、導入済・運用に課題がある：17.3%）が約4割を占めました。「導入済・運用もうまくいっている」と回答したのは僅か1.4%に留まりました。

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000050.000022401.html>

スカイディスクのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/22401

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社スカイディスク 広報担当：福間 晶子（ふくま あきこ）

電話：070-3992-1353

メールアドレス：a-fukuma@skydisc.jp